

令和7年度 社会福祉法人湖南省社会福祉協議会事業報告

【社会福祉協議会基本理念】

『一人ひとりが“ぬくもり”と“安心”と“希望”にみちたまちづくりをめざして』

第四次地域福祉活動計画に基づく推進事業

【地域福祉活動計画の基本理念】

『一人ひとりができる役割 もれない支援 行ったり来たりの思いやりのまち』
～ “ぬくもり”と“安心”と“希望”にみちたまちづくりをめざして～

令和7年度は、本会にとって「次代に向けた地域福祉の基盤再構築」を協議する重要な一年となりました。湖南省においても、人口減少や少子高齢化、さらには生活困窮課題の複雑・多様化が進む中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「地域共生社会」の実現に向け、以下の重点施策を中心に事業を展開しました。

重点項目として、令和9年度から始まる5か年の活動指針である、地域住民・行政・社会福祉協議会が共に目指すべきビジョンを共有する「第五次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を市と一体的に進めるべく、令和7年度より策定作業に取りかかっています。「第四次活動計画」の進捗管理での課題抽出や市民意識アンケート調査を実施しました。令和8年度において策定委員会などで本格的な議論を行うこととなります。これと同時に、**社協会費および助成金の見直し**にも着手いたしました。財源検討部会を開催し意見を集約したうえで、有効な活用ができる会費への再編と、地域の主体的な活動をより効果的に後押しする助成体系への転換を図り、地域福祉活動の活性化を促進していくことを目指し議論を重ねました。

情報発信の面では、これまで新聞折込で配布していた広報誌に関して、新聞の購読世帯の減少を踏まえ、試験的ではあるが、**全戸ポスティングでの配布を導入**しました。また、**SNSの有効的な運用を推進**、公式LINEにて日常の活動をタイムリーに発信し、若年層など、これまで情報の届きにくかった層へのアプローチを強化し、社会福祉協議会活動の見える化と福祉意識の啓発に努めました。

生活支援体制整備事業については、中学校区ごとに第1層地域支えあい推進員を配置し、積極的に地域に出向き、各まちづくり協議会の第2層地域支えあい推進員と協力しながら、支えあい体制の構築を推進しました。また、**第1層地域支えあい推進会議では、地域課題である「移動」をテーマとして**、地域住民のみならず介護保険事業所などと協議し

意見集約を行い、報告書「湖南省のくらしの移動 ～行きたい場所に あたりまえに～」を取りまとめました。

ボランティア活動では、新規事業としてボランティアの居場所「ちょぼ café」を定期的に開催し、住民同士が気軽に集いつながる場を設置しました。

また、障がい児余暇支援事業「ホリフェス」では、新たな試みとして、介護保険事業所の協力を得て行事を実施し、世代間、垣根を超えた交流が実現しました。

個別支援では、コロナ禍で急増した生活福祉資金特例貸付の利用世帯に対し、きめ細やかなフォローアップ事業を継続しました。滋賀県社会福祉協議会の生活再建支援員の個別訪問と連携し、経済的自立に向けた伴走型支援を徹底しました。利用世帯に対面で接することで、困りごとを整理し、気持ちに寄り添うことで安心に繋がっているとの報告がされています。

さらに、身寄りのない高齢者など多様化する生活支援ニーズに応えるため、現在、国では「成年後見制度」とともに「地域福祉権利擁護事業」の運用の見直しが図られているところです。従来の生活支援だけではなく、入院時等の身元保証や亡くなった後の事務処理など、より実効性の高いサービスを実施できる体制整備を見据え、滋賀県社会福祉協議会や市行政とも協議を継続しています。

介護保険事業においては、福祉サービスの根幹として、居宅介護事業（訪問介護等）の安定的な運営を目指しました。しかし、専門職による質の高いサービス提供の維持は継続できているものの、全国的な事業所の廃業や報酬単価の減額、さらには利用者の減少と人材確保の難しさが重なる極めて厳しい状況にあります。今後は社会情勢の変化に即応した経営基盤の強化と担い手の育成に注力し、将来にわたって持続可能なサービス提供体制の構築を推進してまいります。

総じて、本年度は次期活動計画策定に向けた「未来の設計」と、既存事業の抜本的な「仕組みの改善」を並行して進めた年となりました。今後も湖南省社会福祉協議会は、地域住民のみなさまや関係機関・団体とともに、時代の変化に即応した能動的な攻めの福祉を展開し、地域福祉のプラットフォームとしての役割を果たしていきます。

以下、具体的な事業実施項目について、次のとおり報告します。

基本目標 1 地域活動を支える人づくり

地域福祉を推進するには、その担い手となる人材を確保・育成することが必要です。人権教育や福祉教育、多様な交流の推進により地域への関心や福祉意識の醸成を図り、市民のボランティア活動や多様な活動への参加を促進します。また、地域の核となり、けん引役となるリーダーの育成に努めます。

1 人権尊重の推進

① 人権教育・啓発の推進

○あらゆる差別の撤廃や人権擁護の意識を高めるため、市民、ボランティアや福祉団体に対して人権啓発や研修を実施します。

◆市民を対象とした人権啓発を兼ねたテーマ別研修会の開催【地域福祉活動事業】

ボランティア向け、市民向けに研修会を開催し、障がいへの理解や人権意識の醸成を促しました。

- ・趣味から始めるボランティア講座【3講座 全8回】
- ・おはなし（傾聴）サポーター養成講座【全2回】

◆ボランティアグループへの人権学習会の実施【地域福祉活動事業】

実施できませんでした。

◆地域団体・福祉団体向けの人権啓発の推進と協力【地域福祉活動事業】

市主催「出会い・気づき・発見講座」「豊かなつながり創造講座」の開催パンフレットを本会指定管理施設で案内と掲示、人権週間時に啓発物の配布に協力しました。

◆市民向け権利擁護セミナーの開催【地域福祉権利擁護事業】

特定非営利活動法人ぱんじーと共催で、12月13日に宇川会館にて、「令和7年度市民向け権利擁護セミナー」を開催しました。

演 劇 「これって虐待？あなたの気づきで孤立を防ごう～山本家愛の劇場」

講 義 「不適切なケアって？虐待を通して権利擁護を考える」

講 師：桐高 とよみ 氏（特定非営利活動法人ぱんじー）

参加者：49名

○誰もが参加しやすいイベントを企画・開催します。

◆老人福祉センターまつりの開催【石部老人福祉センター管理事業】

5月31日に開催しました。施設利用者を中心に実行委員会を組織し、活動発表や展示・体験コーナー、模擬店コーナーを設置し、市民のみなさんに来場いただき、利用促進や周知に努めました。

②多様な交流の促進

○各種イベントに参画し、ボランティアや福祉団体等の参加促進など交流の活性化を支援します。

◆ボランティア交流会、ボランティアカフェの開催【ボランティア活動事業】

活動の周知と交流を目的に「ボランティア交流会」が、ボランティア連絡協議会主催で2回開催され、一部協力しました。 7月・12月に実施

新)ちょっこつとボランティアについて話そうカフェ (ちょぼ café) の開催

- ・内容：茶話会、茶話会+物づくり (第2金曜) 7月～3月 9回 参加総数 100名
- ・9月12日 簡単ストラップ
- ・11月14日 折り紙
- ・12月12日 クリスマスイベント「スノードームづくり」開催
- ・1月9日 折り紙・色鉛筆画体験
- ・2月13日 ひな祭りグッズづくり
- ・3月13日 マジック体験・写真展示

◆まちづくりセンターまつり、ボランティアまつり、ふれあい広場の支援

【地域福祉活動事業】

ボランティア連絡協議会主催のボランティアまつり、各地域のまちづくりセンターなどに職員が出向き協力しました。

○ボランティアまつり (協賛) 11月1日

○共同募金運動 10月19日～12月7日

◎共同募金活動・社協活動啓発などに参加

- ・岩根まちづくりセンターまつり
- ・下田まちづくりセンターまつり
- ・石部まちづくりセンターまつり
- ・三雲じんけんまつり

◎共同募金・社協活動啓発のみ

- ・菩提寺まちづくりフェスタ
- ・水戸まちづくりフェスタ
- ・柑子袋ゆめまつり
- ・石部南ふれあいまつり (展示申込期間以降のため未実施)

○ふれあい広場 10月5日 会場：近江学園 ※今回で最後

③多文化共生の推進

○外国人と一緒に活動できるような仕組みづくりと活動を支援しました。

◆市国際協会主催の国際交流サロン、ワールドフェスタへの参画【地域福祉活動事業】

さくらサロンやワールドフェスタへボランティアグループの要請があり、複数のグループに参画いただきました。

また、今年度から国際協会運営委員会に出席し、各グループ活動の内容共有や、誰もが参加しやすい居場所について協議しました。

◆外国人住民との懇談会の実施（国際協会との連携）【地域福祉活動事業】

国際協会行事に参加できませんでした。

2 地域への関心と福祉意識の醸成

①地域への関心の涵養

○地域の福祉活動について紹介し、関心を持ち意識を高められるように取り組みをしました。

◆わがまるフォーラムの開催【生活支援体制整備事業】

広く湖南市民を対象とした支えあいのまちづくりに関する講演会『わがまるフォーラム』を1月31日に湖南市社会福祉センターにて開催しました。

※地域福祉大会と同時開催しました。（詳細は8ページ 基本目標3-①）

◆地域つながる応援講座、出前講座の開催【地域福祉活動事業】

地域の活動に関心をもってもらえるように、各種のテーマを設定して年間を通じて講座を開催しました。社協講座を分かりやすく一覧にしたパンフレットを作成し、広く周知できるように工夫しました。

◆シニア応援講座【石部老人福祉センター管理事業】

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交代をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催しました。

- ① 「フレイル予防のヨガ」【全2回】 11月12日、11月26日 参加者25名
- ② 「押絵の干支づくり」 11月27日 参加者11名

②福祉教育の推進

○ボランティア講座の開催やボランティア体験の機会などを提供しました。

◆きっずぼらんていあ講座の開催【ボランティア活動事業】

今年度は、ちょぼ活～ちょこっと ボランティア 推し活しませんか 小学生版 中学生版～体験講座として開催しました。【全5回】

7月24日、7月29日、8月5日、8月7日、8月21日

参加者38名（小学生24名、中学生10名、高校生2名、大学生2名）

○学校や教育の場における福祉活動や学習会に協力し、理解を得られるよう取り組みました。

◆幼、保、こども園など子育て関係機関や学校等との連携した総合学習、文化祭等への協力と助言【ボランティア活動事業】

◆小学校での福祉ボランティア体験の実施【ボランティア活動事業】

市内小中学校への福祉体験協力ほか、地域コーディネーターと連携し、ボランティア体験協力の助言を行いました。

◆中高生ボランティア体験講座の開催【ボランティア活動事業】

市内小中学校への福祉体験協力

水戸小学校	3年生 44名	手話・視覚障がい者のお話
石部小学校	3年生 60名	手話・点字
石部南小学校	3年生 37名	点字・アイマスク・視覚障がい者のお話・車椅子
岩根小学校	3年生 25名	手話・視覚障がい者のお話・アイマスク
菩提寺小学校	3年生 72名	車椅子
菩提寺北小学校	3年生 39名	アイマスク・視覚障がい者のお話
下田小学校	3年生 68名	点字・アイマスク
三雲東小学校	3年生 45名	アイマスク・車椅子・手話
甲西中学校	1年生 120名	手話・車椅子

市内小中学校へのボランティア体験協力

菩提寺小学校	クラブ活動《竹とんぼ、折り紙》
石部小学校	1年生 40名 昔遊び交流会《竹とんぼ》
三雲小学校	クラブ活動 昔遊び《折り紙・茶道クラブ》
石部南小学校	クラブ活動 1年生 38名 昔遊び《茶道クラブ・竹とんぼ》
菩提寺北小学校	1年生 48名 昔遊び《竹とんぼ、折り紙》
三雲東小学校	1年生 38名 《竹とんぼ》
甲西中学校	1年生 120名 バルーン・色鉛筆画・ギター・折り紙・竹とんぼ

きつず&中高生ボランティア体験講座での手話体験

(ボランティアグループ「めだか」による) 8月21日 参加者12名

3 地域活動への参加・参画の促進

①ボランティア活動の促進

○目的型のボランティアなど各種の養成講座を開催し、ボランティアに関心を持ってもらうとともに、ボランティア活動への参加を促進しました。

◆ボランティア入門啓発事業、各ボランティア体験講座の開催【ボランティア活動事業】

- ・レイカディア大学在学学生 ボランティア説明会 参加者 4 名
- ・趣味からはじめるボランティア講座（出前マジック編）
7 月 8 日、7 月 15 日、7 月 22 日 参加者延べ 19 名
- ・趣味からはじめるボランティア講座（朗読編）
8 月 6 日、8 月 20 日、8 月 27 日、9 月 3 日、9 月 10 日 参加者延べ 15 名
- ・趣味からはじめるボランティア講座（視覚障がいサポート編）
12 月 25 日 参加者 17 名
- ・きつず&中高生ボランティア体験講座
7 月 24 日、7 月 29 日、8 月 5 日、8 月 7 日、8 月 21 日 参加者延べ 39 名
- ・おはなし（傾聴）サポーター養成講座
12 月 5 日、12 月 12 日 参加者延べ 34 名

○ボランティアセンターを運営し、広報市等でボランティア活動を紹介するなど、ボランティア活動についての情報発信と意識啓発を図りました。

◆ボランティア連絡協議会の支援【ボランティア活動事業】

- ボランティアグループ一覧パネルの作成、掲示
- ・ボランティア連絡協議会広報紙「てと手」発行の支援
- ・ボランティアまつり開催の支援

②多様な活動への参加促進

○地域における活動が活発になるよう、情報提供や活動発表の場の支援を行いました。

◆ボランティアまつりの支援【ボランティア活動事業】

ボランティアまつり 11 月 1 日 750 名を超える来場者 協力ボランティア延べ 306 名

◆ボランティア社協会長表彰式での地域実践発表の実施

【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

1 月 31 日 地域福祉大会で会長表彰受賞グループの活動発表を行いました。

◆わがまるフォーラムの開催【生活支援体制整備事業】

広く湖南市民を対象とした支えあいのまちづくりに関する講演会『わがまるフォーラム』を地域福祉大会と同時開催しました。（詳細は8ページ 基本目標3-①）

◆地域担当職員（地域福祉支援員）の配置【地域福祉活動事業】

7つのまちづくり協議会すべてに職員を地域福祉支援員として配置しました。まちづくりセンターまつりなどに参画し地域と連携を図りました。

◆子どもの未来について考えるフォーラムの開催【子ども・子育て支援事業】

子どもたちが、家庭の経済力に影響されることなく、教育を受け、社会の中で自立していけるように、私たちが何をしていくべきか考えていくことを目的として実施した。

不登校経験者による実体験のエピソードやメッセージ、音楽を通して、子ども・保護者・支援者等が安心して自分の思いに耳を傾けられる場をつくり、ともに未来を考えるきっかけとなる時間をつくることを目指すことができました。

実施場所	湖南市社会福祉センター
開催日	2月14日
内 容	講演&音楽ライブ 「心の居場所～不登校だった僕の人生を変えてくれた言葉～」
講 師	NPO 法人 好きと生きる JERRYBEANS 山崎史郎氏&山崎雄介氏
参加者数	92名(会場：83名・オンライン：9名)
後 援	湖南市

◆催し物器具貸出事業【善意銀行事業】

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出しました。

・貸出件数 合計 81 件 〈昨年 61 件〉

	かき氷機	綿菓子機	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
7年度	26件	40件	20件	1件	1件
〈昨年度〉	(21件)	(32件)	(27件)	(0件)	(1件)

◆地域福祉大会の開催【地域福祉活動事業】

福祉関係者や地域住民が一堂に会し、地域福祉を考える交流の場として開催しました。

期日：1月31日 場所：湖南市社会福祉センター

○社会福祉協議会会長表彰状・感謝状贈呈 31個人、3団体

○わがまるフォーラム

講演『やさしさが循環するまち ～ココロが喜ぶ声かけの「わ」～』

講師 田川 雅規 氏

○わがまちマルシェ（作業所や地域活動している団体などの参加）

③寄付による福祉活動への参加

○共同募金等への協力を募り、必要とする市民や団体が活用できるよう取り組みました。

◆誰もができる善意の支援活動の実施【善意銀行事業】

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については広報事業や老人福祉センター管理事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てることができました。

寄付総額 1,233,493 円 〈昨年 1,432,355 円〉

寄付物品 お米、リハビリパンツ、タオル、毛布、パジャマ等

※事業費として

- ・一年通じて生活困窮者に対して食糧支援の食糧を購入しました。
- ・7月、12月のフードドライブ事業の一部に支出しました。
- ・2,000,000円を善意銀行の基金として積み立てました。
- ・年3回発行の本会広報誌「ふくしの輪」の印刷に一部に支出しました。
- ・5月開催の石部老人福祉センターまつりへ助成しました。

◆共同募金運動

○赤い羽根（一般募金）運動募金 実績 3,732,717 円（昨年 3,673,486 円）

○歳末たすけあい運動募金 実績 2,068,705 円（昨年 2,179,918 円）

【共同募金運動募集・啓発活動】

- ・市民の皆様への戸別募金の協力依頼
- ・湖南市内企業様への法人募金の協力依頼
- ・湖南市役所、小中学校への募金協力依頼
- ・市内での啓発活動

10 月 1 日 甲西駅前にて街頭啓発（朝夕 2 回）実施

各地域まちづくりセンターのまつり等にて

啓発活動あるいは啓発パネル等の設置 / 8 か所

社会福祉センター、老人福祉センター、ふれあいの館に募金箱の設置

地域商店へ募金箱等設置協力 8 店舗

【一般募金による助成(配分)事業】 総助成（配分）額 2,216,613 円

- ・福祉推進校助成金 8 校へ助成 / 総額 236,575 円
- ・高齢者支援事業 11 地域 / 総額 776,260 円
- ・地域福祉活動奨励金 市内全区 / 総額 370,772 円
- ・社協主催事業への助成 / 総額 816,393 円
- ・おてがみプロジェクト（市民の手書きの絵手紙を施設・独居高齢者に届ける活動）
/ 総額 16,613 円

【歳末募金による(配分)事業】 総助成（配分）額 1,692,386 円

- ・歳末たすけあい見舞金 決定件数 45 世帯 / 配分金額 648,000 円
- ・75 才以上独居高齢者歳末見舞品 対象 1,075 名 / 物品購入費 434,424 円
- ・年末年始の緊急生活支援物資 / 物品購入費 29,962 円
- ・施設(GH・通所)主催年末・年始事業助成 28 施設 / 総助成額 280,000 円
- ・地域福祉活動助成金 / 社協へ助成 300,000 円

・剰余金（繰越金） / 376,319 円

◆子ども未来基金事業【子ども・子育て支援事業】

湖南省内で、子どもを対象とする事業を行う団体(子ども食堂、子どもの学習支援事業、その他子どもの支援に関する事業など)に対し、「子どもの未来づくり助成金」を交付することによって、子どもの未来づくり活動、子どもの居場所づくりを推進することを目的としています。

【助成金の限度額】

※重複申請可能です。

助成金の種類	限度額（1団体につき）
事業準備経費助成金（初年度）	100,000 円
事業運営経費助成金	50,000 円

【助成金の対象経費】

助成金の種類	助成金対象経費
事業準備経費助成金	備品購入費、その他事業開始に当たっての初期経費
事業運営経費助成金	食材費、光熱水費、消耗品費、会場使用料、印刷製本費、保険料、報償費、通信費、その他事業運営に必要と認められる経費

※ただし、団体内部の研修及び親睦のための経費は対象外とします。

※「(福) 湖南省社会福祉協議会生活困窮者支援基金」を財源とします。

◎令和7年度実績 8団体 619,000 円

(事業準備経費 300,000 円、事業運営経費 319,000 円)

4 地域や団体のリーダーの育成

①リーダー養成の推進

○福祉課題のある人を支えられるよう、各種養成講座をはじめリーダー研修等を実施しました。

◆地域リーダーの養成【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

地域支えあい推進員を対象に研修会を開催しました。また、地域で活動する担い手を養成する「地域つながる応援講座」を年間通じて開催しました。

◆手話・点字・朗読等に携わる人の養成講座の開催、支援

視覚障がい者の支援ボランティア養成を目的に講座を開催しました。

12月25日 講師：丸本 武氏（滋賀アイステーション(滋賀県視覚障害者福祉協会)）

◆課題について協議する場づくり【地域福祉活動事業】

各学区の第2層地域支えあい推進員・まちづくり協議会と協力し、地域課題に対して、住民一人ひとりができることについて協議する場（協議体）の開催に向けて打合せを行い、開催当日にも参加し、会議の運営・進行のサポートを行いました。

○ボランティアコーディネーターを育成するとともに、ニーズに応えられるよう、研修等を行いました。

② 地域コーディネーターの育成

○第1層地域支えあい推進員が第2層地域支えあい推進員の活動を支援し、地域のニーズに応えられる活動に取り組みました。

◆地域支えあい推進員研修会および連絡会議の開催【生活支援体制整備事業】

■地域支えあい推進員養成講座の開催

○新任推進員向けオリエンテーション：4月16日 推進員ミーティング終了後

今年度新たに推進員となった方向けに、生活支援体制整備事業の概要、地域支えあい推進員の役割、まちづくり協議会をはじめとした地域組織との連携についてのオリエンテーションを開催しました。

○基礎編：5月28日 講師：NPO法人元気な仲間 谷 仙一郎 氏

演題：「ふれあい・ささえあいづくり」

高島市で住民同士の支えあい活動を先駆的に進めておられる講師をお呼びして、実践例を交えながら、支えあいの輪を広げていく方法などを学ぶ機会としました。

○実践編：7月30日

石部、岩根、菩提寺の3学区の2層推進員および地域の活動者から、地域の支えあい活動の実践例を発表形式で報告していただき、他地域の情報を推進員同士で共有するとともに、パワーポイント資料の作成およびその資料を元に活動報告を行う練習の機会としました。

■コーディネーター交流会の開催 2月18日

今年度は、甲賀市社会福祉協議会の1層推進員、2層推進員をはじめ、市職員にも参加いただき、交流会を開催しました。

当日は3つのグループに分かれ、それぞれの地域の支えあい活動の紹介、地域課題や推進活動における悩み事、今後役立つ知識や手法を共有する有意義な時間となりました。

コーディネーターとしての資質やモチベーションを高めることはもちろん、両市町のコーディネーター・行政・社協同士のつながりを構築することが期待できることから、次年度も引き続き市外他地域のコーディネーターとの交流会を開催する予定です。

■地域支えあい推進員ミーティングの開催（月1回第3水曜開催）

行政・社協からの連絡事項の共有をはじめ、2層推進員同士の情報交換を目的に、各地域で会場を持ち回りで開催しました。（第1層地域支えあい推進会議、コーディネーター交流会のある月は開催しませんでした。）

ミーティングでは、2層推進員が活動の実情や今後の展望の意見交換を行い、互いのモチベーション向上につながっています。2層推進員を支えていくためにも、今後もこのミーティングを継続していく必要があると考えています。

◆地域支えあい推進員の活動の周知【生活支援体制整備事業】

広報誌「わがまる通信」を年3回発行し、地域支えあいについて啓発・普及を行いました。

○地域支えあい推進員、第1層地域支えあい推進会議のメンバーの紹介。

○地域の困りごととその解決に向けた活動について住民さん同士の支えあいの取り組みを紹介。

○「くらしの移動」をテーマに、地域の声と話しあいから見えてきたことを掲載。

基本目標2 地域で支え合う力を高めるつながりづくり

ひとり暮らしの高齢者や子育ての不安に悩む親、障がいのある人など、地域には見守りや支援が必要な人が暮らしています。災害時などには、互いに助け合うことも不可欠です。安心して暮らせる地域をつくるために、困ったときに支え合ったり、助け合ったりできる地域のつながりづくりを推進しました。

1 地域における顔の見える関係づくり

①地域における交流・ふれあい活動の推進

○身近なところでの小地域福祉活動を推進しました。

◆小地域福祉活動推進研修会の開催【地域福祉活動事業】

地域つながる応援講座やわがまるフォーラムで小地域福祉活動についての啓発を行いました。

○地域コーディネーターや主任児童委員などと連携し、子育てを通じた交流を支援しました。

◆子ども未来基金事業の助成【子ども・子育て支援事業】

基本目標1－3で記載の通り

②世代間交流の促進

○子どもと高齢者や青年層との交流、および子どもの遊びの場づくりを進めました。

◆ボランティアによる昔遊びの伝承の場づくりの支援【ボランティア活動事業】

基本目標1－2で記載の通り

◆世代間交流の場づくり【地域福祉活動事業】

市内の子ども食堂に対し、寄付で受け付けた食料や物資を提供しました。

③新たなつながり方の構築

○新しいつながり方を検討・実施し、関係機関や団体への普及に努めました。

◆ICT機器の使い方講習会の開催【地域福祉活動事業】

実施できませんでした。

◆オンラインを活用したイベントの開催（つながる演奏会・カフェ）

【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

実施できませんでした。

◆あったかこころを届けよう♡みんなのおてがみプロジェクト【地域福祉活動事業】

広く市民に呼びかけ、閉じこもりがちな方や医療・福祉施設従事者に対して、応援メッセージを届けるプロジェクトを企画、実施しました。

市内こども園、小学校、中学校、高校、一般市民の方から約2,846枚のメッセージカードの提供がありました。（前年度2,049枚）

配布先：

- ・高齢者施設入所の方 35施設（前年度35施設）
- ・75歳以上ひとり暮らし高齢者（歳末見舞品同封）1,072枚（前年度973枚）

◆先進事例の情報提供と実行への支援【地域福祉活動・生活支援体制整備事業】

○まちづくり連絡会議の開催（各学区で年5回程度）

2層推進員が孤立することなく、地域まちづくり協議会・まちづくりセンターと一体となって支えあい推進活動が展開していくよう、情報共有・連携強化を目的に、市内7か所の地域まちづくり協議会ごとに2か月に1回開催しました。

○各地域の2層推進員と月に1回以上顔を合わせ、気軽に相談していただける体制をつくりました。

2 地域コミュニティの強化

①まち協や区・自治会活動の促進

○地域担当職員を配置し、地域まちづくり協議会などの会議や活動の場に参加しました。

◆地域担当職員（地域福祉支援員）の配置【地域福祉活動事業】

基本目標1－3で記載の通り

○地域まちづくり協議会に対し、支え合い活動の立ち上げや運営の支援をしました。

◆絆づくり交付金事業【地域福祉活動事業】

みんなで支えあう安心の地域づくりを目指して、地域まちづくり協議会が行う事業に対して、交付金を交付しました。

まちづくり協議会に対し、地域の福祉課題を自主的に解決しようとするための事業に助成しました。 地域まちづくり協議会 7か所 各 12 万円

②地域で活動する団体等への支援

○ボランティア団体やNPO、事業所等の地域活動を支援しました。

◆福祉団体等活動助成金の交付【助成事業】

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、甲西・石部赤十字奉仕団、更生保護女性会、身体障害者更生会、保護司会に活動助成金を交付しました。

○地域で福祉活動を実践する住民や団体等の交流を促進しました。

◆ボランティア活動助成金の交付、民間助成金申請の支援【ボランティア活動事業】

ボランティア活動保険加入者（ボランティアセンター登録）482 名（前年度 556 名）
ボランティア活動助成金交付団体 39 団体（前年度 45 団体）

◆区（自治会）活動助成金の交付【助成事業】

各区の前年度（令和 6 年度：5,146,720 円）の社協会費額の約 50%を地域福祉活動のために助成しました。 助成額合計 2,573,100 円 <前年度 2,639,100 円>

3 地域における見守りの充実

①見守り活動の推進 ②虐待・DVの早期発見・早期対応

○地域での見守り活動の推進に努め、ひとり暮らし高齢者などに対し、見守り活動についての周知を行い、利用を呼びかけました。

◆ふれあい給食による安否確認、おはなし（傾聴）サポーターによる見守りの実施

【地域福祉活動事業】

○ふれあい給食 全 22 回実施

調理登録ボランティア数 20 名 / 配達ボランティア数 28 名

登録人数 80 名 / 配食数 延べ 1,234 食 / 要安否確認 18 回

○おはなし（傾聴）サポーター

利用登録者数 22 名 / サポーター登録数 33 名 / 訪問回数 230 回

○福祉についての学習会などで、虐待やDV、ひきこもり等の地域生活課題について、正しい理解と市民の関心を高めました。

◆市民向け権利擁護セミナーの開催【地域福祉権利擁護事業】

基本目標 1－1 で記載の通り

◆出前講座の開催【地域福祉活動事業】

開催回数：2回 / 参加人数：99名

依頼内容：市民対象に「防災」や「地域支えあい活動」について説明しました。

③自殺対策の推進

○地域福祉権利擁護事業や生活福祉資金貸付の相談業務において、自殺のサインを見落とさないように努めました。また、地域の緩やかな見守り体制の構築を行いました。

◆生活福祉資金貸付事業等による早期発見【生活福祉資金貸付事業】

基本目標3-2で記載の通り

4 地域活動の基盤の充実

①地域における活動の拠点づくり

○指定管理施設の社会福祉センターやふれあいの館等の施設を市民が利用しやすいよう、利便性の向上に努めました。

◆施設管理事業、施設管理施設での活動発表の場づくり

【社会福祉センター・ふれあいの館・石部老人福祉センター管理事業】

社会福祉センター

市（福祉政策課）から指定管理（令和6年度～令和10年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行いました。

貸館状況

年間延べ	1,877件	〈昨年 1,909件〉
平均	約156件/月	利用

ふれあいの館

市（福祉政策課）から指定管理（令和5年度～令和7年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行いました。

貸館状況

年間延べ	505件／3,549人	〈昨年 延べ549件〉
平均	約42件／296人	月 利用

「ふれあいさろん」の開催（たまり場事業）、毎週囲碁などを通して交流の場を提供しました。

備品・文具の貸し出し ボランティアグループに対しマイク・アンプなどボランティア活動に必要な物を貸し出しました。

石部老人福祉センター

市（高齢福祉課）から指定管理（令和５年度～令和９年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務を行いました。高齢者を対象にした風呂の利用を中止しましたが、サロンは４月から１０回開催しました。

貸館状況

年間延べ	585 件/4,806 人	＜昨年 延べ 625 件/5,130 人＞
平均	約 49 件/401 人	月 利用

＝軽運動場管理事業＝

年間延べ	517 件/5,350 人	＜昨年 延べ 479 件/5,371 人＞
平均	約 43 件/446 人	月 利用

○ふれあいサロン「みんなのまめ講」の開催

猛暑の８月と９月以外は、毎月１回開催しました。

延べ	109 名参加	＜昨年延べ 86 名＞
----	---------	-------------

②地域における協議の場づくり

○地域まちづくり協議会ごとの実施が求められている第２層地域支えあい推進会議の開催・運営を支援し、住民同士の協議を促進しました。

◆第２層地域支えあい推進会議の開催、運営支援【生活支援体制整備事業】

地域住民、自治会役員、民生委員・児童委員、地域包括支援センター職員等が集まり、地域の困りごとや今後必要な取り組み等について話し合う場を設けている学区があり、その開催に向けて地域まちづくり協議会・第２層地域支えあい推進員と事前に打合せを行い、開催当日も会議の運営・進行をサポートしました。

○三雲学区まちづくり協議会：よろず会（２回開催）

○菩提寺まちづくり協議会：すくすく会議（１回開催）

※その他の学区は、既存の役員会や福祉部会等を協議体と位置付けています。

◆地域活動マップの作成支援【生活支援体制整備事業】

地域情報の見える化に向けての取り組みを推進しました。

令和６年度に関係者向けに配布した「支えあいお宝リスト」を、市民の方々にも閲覧していただけるように記載内容とデザインを整えて正式な初版として発行し、まちづくりセンターなどの市内公共施設へ設置するとともに、あらためて福祉関係機関に配布を行いました。

基本目標 3 安全・安心に暮らせる地域づくり

誰もが安全・安心に暮らすために、防災・防犯対策に取り組むとともに、様々な困難や生活上の課題を抱える人が必要な支援を受けられ、安心して暮らせる仕組みづくりを進めました。また、ユニバーサルデザインのまちづくりや、高齢になっても移動や住む場所に困ることがない生活環境の整備を推進しました。

1 防災・防犯体制の充実

①防災・減災の推進

○災害ボランティア養成講座を開催し、災害時のボランティアと災害ボランティアセンターの活動の啓発推進に努めました。

◆災害ボランティア養成講座の開催【地域福祉活動事業】

○講座Ⅰ 9月6日 「防災のきほん」 湖南中央消防署員 35名参加

○講座Ⅱ 11月22日 「災害ボランティア実習」 34名参加

・困っている人に寄り添う ・防災備蓄について ・防災クイズ

※実施場所は湖南市社会福祉センター

9月20日 甲西北中学校「防災フェスタ」に参画し、災害ボランティア活動の啓発、防災ゲーム、ボランティア活動体験、防災クイズなどを通して、訪れた市民に啓発を行いました。

◆災ボラカフェの開催【地域福祉活動事業】

実施できませんでした。

○災害発生時に災害ボランティアセンターの設置・運営、ボランティアの受け入れやコーディネート円滑に行えるよう、設置運営訓練を実施しました。

◆災害ボランティアセンター設置運営訓練【地域福祉活動事業】

10月4日 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 43名の参加がありました。

◆災害ボランティアセンター啓発活動とボランティア登録制度の推進

【地域福祉活動事業】

基本目標3-1で記載の通り

◆発災時に備え職員の初動体制と市外への派遣体制の確立【地域福祉活動事業】

基本目標3-1で記載の通り

②避難行動要支援者の支援

○災害ボランティアセンター設置運営訓練時に、災害ボランティアが災害時要配慮者を訪問して、情報提供とヒアリングを行い、平常時からつながる体制づくりに努めました。

◆災害ボランティアセンターのニーズ班活動訓練の実施【地域福祉活動事業】

災害ボランティアセンター設置運営訓練時に、情報提供やヒアリングを実施できませんでした。

◆避難所運営の協力【地域福祉活動事業】

実施できませんでした。

③地域防犯体制の推進

○市、地域や関係団体と連携して、見守り活動や啓発情報の発信に取り組み、防犯意識の向上を図りました。

◆広報紙（ふくしの輪）等による情報提供【広報発行事業】

6月発行（通刊56号 新聞折込）

10月発行（通刊57号 ポスティング）

2月発行（通刊58号 新聞折込）

◆社会を明るくする運動への参画【地域福祉活動事業】

法務省が主唱する犯罪や非行をした人の更生と非行防止を運動の目的とする、「社会を明るくする運動」の啓発事業推進に協力しました。（啓発活動と推進大会への参画）
湖南市推進大会

○日時 7月1日 場所 菩提寺まちづくりセンター

○内容 ・内閣総理大臣のメッセージ伝達式

・講演会

演題 少年矯正の現状と泉南学寮の取組

講師 泉南学寮 宮原浩文統括専門官

・啓発のぼり旗の設置活動

2 困難を抱える人への支援の充実

①権利擁護の推進（成年後見制度利用促進計画含む）

○判断能力の不十分な認知症高齢者、障がい者等が自立し安心して地域生活を送れるよう支援しました。【地域福祉権利擁護事業】

○地域福祉権利擁護事業の周知を行うとともに、専門員や生活支援員の資質向上など支援体制の強化に努めました。

◆地域福祉権利擁護事業【地域福祉権利擁護事業】

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行いました。

・契約件数：68件 <昨年56件>

【内訳】認知症高齢者等 10件 知的障がい者等 28件
精神障がい者等 18件 その他 12件

・年度内新規契約：18件（認知4、知的2、精神1、その他11）

解約：6件（認知2、知的1、精神1、その他2）

問い合わせ ・相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	0	0	0	0	0
問い合わせ初回相談	4	5	3	20	32
相談援助	1,632	1,935	1,744	415	5,726
計	1,636	1,940	1,747	435	5,758
<昨年度計>	(1,106)	(1,932)	(1,753)	(251)	(5,056)

○特定非営利活動法人ぱんじー（甲賀・湖南権利擁護支援センター）や市と連携し、成年後見制度に関する情報提供や利用支援に取り組みました。

◆成年後見制度の利用支援【地域福祉権利擁護事業】

甲賀圏域権利擁護支援推進協議会に出席し、甲賀圏域における権利擁護の諸課題や地域連携について委員間で共有・協議しました。

期日：2月6日 場所：甲賀市 水口社会福祉センター

②生活困窮者への支援

○各種相談や事業において生活相談を行い、必要に応じて生活福祉資金の貸付や就労支援等へつなげました。

◆家計改善支援事業【生活困窮者家計改善事業】

市福祉政策課(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計改善支援を行った。生活福祉資金貸付事業とも必要に応じて連携をとりました。

項 目	世帯数/件数
利用世帯数	8 世帯／年 昨年（7）
相談件数	2 件／年 〃（2）
支援件数	107 件／年 〃（88）

※相談件数…契約前の相談数 支援件数…契約後の支援件数

◆生活福祉資金貸付相談【生活福祉資金貸付事業】

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食糧品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行いました。

コロナ禍に受付けた特例貸付の借入（令和2年3月25日～令和4年9月30日）については、令和5年1月からは特例貸付の償還が始まるとともに、償還免除、償還猶予の制度が設けられ、順次申請を受付けています。また、返済の猶予申請者等の見守り支援を行っています。（フォローアップ事業）

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種 類	貸 付 件 数
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金	20（昨年 24）

○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類	相 談 件 数	貸 付 件 数
緊急小口資金	163（昨年 187）	8（昨年 6）

○失業による生活貸付（県）

種 類	相 談 件 数	貸 付 件 数
総合支援資金	12（昨年 2）	0（昨年 0）

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類	相 談 件 数	貸 付 件 数
福祉資金	65（昨年 59）	6（昨年 6）
教育支援資金	39（昨年 32）	10（昨年 12）
不動産担保型生活資金	0（昨年 0）	0（昨年 0）

○特例貸付：コロナで失業や収入が減った人が貸付対象（県）

種 類	相 談 件 数	貸 付 件 数
特例貸付（コロナ）	279（昨年 1,143）	0（昨年 0）

○特例貸付対応結果（県）

対応結果件数		
種 別	総 件 数	(内) 外 国 籍
申請手続き支援	192	126
他機関・サービスへのつなぎ	8	5
社協継続支援	240	118
その他	12	3

◆フードドライブ事業の実施【善意銀行事業】

生活困窮世帯等への食糧支援と食品ロス解消を目的に7月と12月に実施しました。社会福祉センター等の社協管理施設、市役所、市内まちづくりセンター（5ヶ所）、三雲コミュニティセンター、サンヒルズ甲西、甲西高等学校、医療生協こうせい駅前診療所、イオンタウン湖南、平和堂甲西店等の協力により、のぼり旗と回収ボックスを設置して食料品の寄付を募り、市民の方々や法人より食料品の提供をいただきました。生活に困窮している世帯を中心に合計402世帯に配付しました。

	第1回（7月）	第2回（12月）
・食料品収集	：6月23日～7月4日	11月21日～12月5日
・配付世帯数(人数)	：196世帯	206世帯
・協力団体	：民生委員児童委員協議会、更生保護女性会、甲西赤十字奉仕団、石部赤十字奉仕団、フードバンクびわ湖、フードバンク滋賀	

③子どもや子育てへの支援

○身近な公共施設等で子育て中の親子の交流の場づくりや、地域での見守り活動の推進に努めました。

◆子育て世帯訪問支援事業【子育てホームヘルプサービス事業】

家事育児に対して不安や負担を抱える世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施しました。

14名、41回／年 ※事業名が変更になりました。

◆ひとり親家庭家事援助派遣事業【子育てホームヘルプサービス事業】

日常生活を営むのに著しく支障があるひとり親家庭に対し、日常生活の世話などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として契約しました。

実績なし

④障がいのある人やその家族の支援

○障がいのある人やその家族の交流を図り、見守りの促進や相談支援を行いました。

◆障がい児余暇支援事業【子ども・子育て支援事業】

ホリフェス わくわくマルシェ

障がい児を対象とした家庭や、学校以外の居場所を提供する事業に取り組みました。また、子どもたちに販売体験もしてもらい、今後の社会生活に生かせるような活動も行いました。今年度は計6回開催しました。

開催日・内容

【第1回】7月23日 創作活動 染物をしよう

講師：匠の郷 廣瀬史郎氏

【第2回】8月8日 創作活動 えあそびをしよう

講師：滋賀県幼年美術の会 黄瀬重義氏

【第3回】8月23日 調理活動 うどんをみんなでつくろう

講師：ぼだいじデイサービスセンターいこい

【第4回】11月1日 ボランティアまつり（販売体験）

【第5回】11月15日 親子ふれあいの集い（販売体験）

【第6回】12月24日 クリスマス会

◆障がい者相談支援事業【障がい者計画相談支援事業】

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行いました。

利用者 27名／年	<昨年 31名／年>
-----------	------------

◆訪問介護事業【障がい者総合支援事業】◆同行援護事業【障がい者総合支援事業】

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供しました。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 268 名／年 ＜昨年 304 名／年＞	利用者 延べ 96 名／年 ＜昨年 58 名／年＞
訪問回数 延べ 1,604 回／年 ＜昨年 1,618 回／年＞	外出回数 延べ 334 回／年 ＜昨年 308 回／年＞

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供しました。

2 対 1	3 対 1
利用者 延べ 48 名／年 ＜昨年延べ 46 名／年＞	利用者 延べ 20 名／年 ＜昨年 12 名／年＞
訪問回数 延べ 123 回 ＜昨年延べ 174 回／年＞	訪問回数 120 回 ＜昨年延べ 48 回／年＞

⑤ひきこもりへの支援

○ひきこもりや地域で孤立している人が社会参加できるよう、集いの場などにつなげる取組を行いました。

◆地域資源の情報提供と参加支援【地域福祉活動、生活困窮者支援事業】

○滋賀県社会福祉協議会、精神保健福祉センターとともに、ひきこもり家族教室を湖南省で開催しました。

期日：10 月 25 日 場所：社会福祉センター

○湖南省ひきこもり支援ステーション事業関連機関連携会議に出席しました。

年 3 回／5 月 29 日、10 月 8 日、2 月 19 日

⑥再犯防止の推進（再犯防止推進計画）

○市や保護司等と連携して、更生保護への理解促進と再犯防止を支援しました。

◆社会を明るくする運動へ参画【地域福祉活動事業】

基本目標 3－1 で記載の通り

3 健やかに暮らし続けるための取組の推進

①身近な集いの場づくり

○市民が地域に出かけ、そこで同じ興味を持つ人同士が集える場、教室等への参加ができるようにつなげていきました。

◆集う場へ参加するきっかけづくり【地域福祉活動事業】

広報誌「わがまる通信」を年3回発行し、地域支えあいについて啓発・普及を行いました。

○地域支えあい推進員、第1層地域支えあい推進会議のメンバーの紹介。

○地域の困りごととその解決に向けた活動について住民さん同士の支えあいの取り組みを紹介。

○「くらしの移動」をテーマに、地域の声と話しあいから見えてきたことを掲載。

◆地域リポーター（モニター隊）事業の取組

地域の方からお聞きした地域情報をSNSやホームページにより、広く情報提供を行います。また社協からのお知らせを定期的に行い、さまざまな活動を周知していきました。

昨年を引き続き、事業取組の検討のみでした。

◆男性の活動拠点づくりの支援【地域福祉活動事業】

実施できませんでした。

②認知症対策の推進

○サロンなど様々な場面を通じて認知症に関する情報提供に努め、認知症予防や認知症への理解促進に努めました。

◆出前講座の開催【地域福祉活動事業】

認知症予防や理解の講座については、地域、福祉団体等から依頼がありませんでした。

◆みくも生きいきサロンの実施【生きがいサロン事業】

65 歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施しました。

実施場所 みくも地域人権福祉市民交流センター（三雲ふれあいセンター）

開設日 毎月第 1、第 3 金曜日

登録者 20 名	
年 24 回開催	356 名参加 <昨年 289 名>

◆いきいきサロンなごみの実施【デイサービス事業】

要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施しました。

実施場所 石部軽運動場（石部老人福祉センター併設）

開設日 毎週火・水曜日

登録者 13 名<昨年 13 名>	
年間 99 回開催	587 名参加 <昨年 548 名>
利用者の送迎	587 名／年

③健康づくり・フレイル予防の推進

○市民が興味のある活動や得意なことを行うことにより、やりがいや生きがいを持ち、地域で活躍できるよう支援に努めます。また、健康意識の向上やフレイル予防のため、健康づくりに関する 情報の発信や意識啓発に努めました。

◆活動のコーディネートやボランティア活動の推進【ボランティア活動事業】

ゴーヤカーテンの取り組み

ボランティア有志によるプロジェクト事業は、昨年度で終了しました。

今年度、さらに少数ですが、有志の方々により、施設でゴーヤの生育についてご協力支援をいただきました。無理のない範囲で、活動していただくことで、健康づくりや生きがいにつながっています。

④地域における生活支援の仕組みづくり

○おはなし（傾聴）サポーターを養成し、地域での声かけ・見守りに取り組むとともに、地域における住民主体の生活支援の取組を支援しました。

◆ふれあい給食サービス【地域福祉活動事業】

基本目標 2－3 で記載の通り

◆おはなし（傾聴）サポーター事業【地域福祉活動事業】

基本目標 2－3 で記載の通り

◆生活支援体制整備事業【生活支援体制整備事業】

生活支援に関する地域まちづくり協議会事業・ボランティアグループの定例会議に出席し、協議の進行サポート・情報提供等を行いました。

具体的な地域：菩提寺（にじいろの輪）、下田（ちょこっとお手伝い）、水戸（福利厚生部会／ささえあい活動）

⑤感染症対策の推進

○感染症等による地域停滞状態から脱却するため、地域でつながりを持ち続けるように努めました。

◆新しいつながり方の情報提供【広報発行事業】

湖南省社会福祉協議会 公式 LINE、ホームページを随時更新しました。

◆オンラインによる交流促進【地域福祉活動事業】

実施できませんでした。

◆つながる演奏会【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

基本目標 2－1 で記載の通り

4 安心して生活できる環境の整備

①バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

○バリアフリーやユニバーサルデザインへの理解向上に取り組みました。

◆小、中、高生福祉体験講座の開催【ボランティア活動事業】

基本目標 1－3 で記載の通り

◆福祉機器（車椅子）貸出事業【善意銀行事業】

車椅子の貸し出し 貸出回数 60 回 〈昨年 66 回〉

②移動しやすいまちづくりの推進

○地域の支え合いによる移送サービスの検討について、協議への参加と情報提供を行い、取組を支援しました。

◆地域まちづくり協議会での検討支援【地域福祉活動事業】

今年度新たに移送に関する取り組みについて、検討したまちづくり協議会はありませんでした。

◆福祉有償運送事業の実施【福祉有償運送事業】

特定旅客自動車運送事業者(道路運送法 43 条及び 78 条を取得)として、介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施しました。

241 名、465 回／年 <昨年計 250 名、478 回／年>

③居住に課題を抱える人への支援

○居住に不安のある方に対し、生活相談と必要な支援につなげるように努めました。

◆生活福祉資金貸付等の生活相談支援【生活福祉資金貸付事業】

基本目標 3－2 で記載の通り

基本目標 4 適切な支援を届けるための体制づくり

制度のはざまや複数の分野にまたがる複合的・複雑的な課題がみられており、必要に応じて複数の部署や関係機関等と連携して包括的な支援に取り組み、支援が必要な人をもらさない仕組みを検討しました。生きづらさを抱え社会的に孤立している人などに対し、アウトリーチによる支援、社会参加のきっかけづくりや居場所づくりに取り組みました。

1 包括的な支援体制の構築

①断らない相談支援の構築

○権利擁護や生活困窮の相談において、複合的・複雑的な課題の発見に努め、必要に応じて適切な他機関につなぎました。

◆生活相談事業【生活福祉資金貸付事業】

基本目標 3－2 で記載の通り

②アウトリーチによる伴走的支援の強化

○自分から助けを求めることができない人へのアウトリーチによる相談や潜在的ニーズの掘り起こしに取り組みました。

◆民生委員・児童委員との連携【地域福祉活動事業】

フードドライブ事業や歳末たすけあい運動など、民生委員・児童委員との協働により、生活困窮者等の支援につなげました。

③参加・就労等の支援

○地域で孤立している人の社会参加のきっかけづくりに取り組みました。

◆コーディネーターによる地域資源とニーズのマッチングの実施

【地域福祉活動・ボランティア活動事業】

ひきこもり支援「奏 ーかなでー」、地域包括支援センター本所、主任ケアマネージャー（ちいきつなげ隊）、社協1層推進員の4者で行う連携会議を年2回実施しました。高齢者の暮らしの困りごとや地域課題を共有し、地域との接点がないひきこもりの方の社会参加や役割づくりに関する意見交換を行いました。

④関係機関との連携強化

○市や関係機関と連携し、分野を横断したきめ細かい相談支援に努めました。

◆障害児・者サービス調整会議への参加【地域福祉権利擁護事業】

定例の障害児・者サービス調整会議へ参加しました。今年度より甲賀圏域障がい福祉人材育成プロジェクトに参加し、1月13日に佛教大学のゼミの授業で甲賀圏域の福祉の魅力をパワーポイントや劇で伝えました。

◆地域ケア会議等への参加【生活支援体制整備事業】

市内4中学校区ごとに開催されている地域ケア会議に中学校区担当(第1層地域支えあい推進員)が出席し、各地域の高齢者の生活課題とその解決に向けて、協議・情報交換を行いました。

2 情報発信・共有の充実

①福祉に関する情報の発信

○制度や事業に関する出前講座の実施や、地域福祉活動の先進事例の提供等を行いました。

◆出前講座の開催【地域福祉活動事業】

地域支えあい活動について、市内での取り組みを出前講座などで説明しました。

◆広報誌（ふくしの輪等）による情報提供【広報発行事業】

基本目標 3－1 で記載の通り

◆公共施設、学校、商業施設への福祉情報提供事業【広報発行事業】

社協広報誌「ふくしの輪」を公共施設、学校、商業施設へ情報提供しました。

◆ホームページ・ブログ等インターネットによる情報提供【広報発行事業】

湖南市社会福祉協議会 公式 LINE の作成、ホームページを随時更新しました。

②関係機関による情報の共有

○支援を必要とする人についての関係者会議の実施等、情報共有や関係機関とのネットワークの構築に努めました。

◆地域ケア会議や支援会議、地域支えあい推進会議への参加【生活支援体制整備事業】

○市内 4 中学校区で開催された地域ケア会議に第 1 層地域支えあい推進員として出席しました。

○第 2 層の協議体（協議の場）については、地域まちづくり協議会・第 2 層地域支えあい推進員と事前に打合せを行い、会議に参加しました。

③わかりやすくきめ細かな情報提供

○手話、点訳、通訳、翻訳などを必要とする人への情報提供を充実できるよう、ボランティアの育成と活動支援に努めました。

◆養成講座の開催、支援【ボランティア活動事業】

基本目標 1－4 で記載の通り

◆小、中、高生体験講座の開催【ボランティア活動事業】

基本目標 1－2、3－1 で記載の通り

3 福祉サービス提供体制の充実

①福祉人材確保の促進

○サービス提供事業者として人材の確保に努めます。また、職員のスキルアップを図るとともに、必要に応じて、地域福祉のノウハウを伝えました。

◆社協職員の地域派遣【地域福祉活動事業】

第1層地域支えあい推進員が地域の協議体や地域ケア会議等に出席、また地域福祉支援員を配置し、まちづくり協議会行事に協力しました。

②福祉事業所の確保

○制度のはざまなど福祉サービスのニーズを把握し、福祉事業者等による新たな事業の立ち上げや新規事業者の参入の支援に努めました。

◆地域や事業所と一緒に取組を考える仕組みづくり【生活支援体制整備事業】

実施できませんでした。

③福祉事業所との連携促進

○市と連携して、多様な事業者によるネットワークづくりを進めました。

◆多分野ネットワーク会議の構築【生活支援体制整備事業】

基本目標4-3で記載の通り

◆第1層地域支えあい推進会議の開催【生活支援体制整備事業】

湖南省内の福祉団体や事業所・地域まちづくり協議会などの代表者が集まり、市内全域の支えあいの地域づくりについて話し合いました。

○事前勉強会を開催 8月27日

演題：「知っていますか？ 「移動」 の今とこれから ～送迎・外出支援のノウハウを聞こう～」

市内外より合計60名の方が参加。

○第1回推進会議 9月24日

昨年度からの「移動」に関する地域課題の協議を継続し、関係主体の役割整理を実施しました。併せて、湖南省内の移動の実情をまとめた報告書の作成と、市民向け通信誌（わがまる通信）による情報発信に取り組みました。

・報告書編集会議（第1回） 11月6日

報告書の詳細な編集を目的として、推進会議の委員6名にご参加いただき、各分野における様々な視点からご意見いただきました。

○第2回推進会議 12月17日

第1回の振り返りと報告書・広報誌掲載内容を共有し、報告書の構成や名称について2グループに分かれ、グループ協議を実施しました。

・報告書編集会議（第2回） 2月2日

12月の推進会議でのご意見やアイデアをもとに、社協事務局で素案を作成し、その素案に対して最終の協議を行いました。

・『湖南省のくらしの移動 ～行きたい場所に あたりまえに～』を令和8年4月発行しました。

④社会福祉法人による地域貢献の推進

○企業の社会貢献活動や社会福祉法人による地域における公益的な取組の推進を図りました。

◆地域とつながる取組検討【地域福祉活動事業】

第1層地域支えあい推進会議を年2回開催し、福祉団体や事業所の代表者に出席いただき、地域の支えあい活動について協議を行いました。

◆フードドライブ事業の実施【善意銀行事業】

基本目標3－2で記載の通り

4 地域福祉の推進体制の強化

①協働による地域福祉の推進

○地域や企業・事業者、市などと横につながるコーディネートを行い、協働による地域福祉の推進に取り組みました。

◆第1層および第2層地域支えあい推進会議【生活支援体制整備事業】

基本目標4-3で記載の通り

②市（庁内）連携体制の構築

○市との連携を強化しました。

◆市の庁内連携組織への参加【社会福祉協議会全事業】

福祉政策課はじめ庁舎内の関係機関と事業の協議を行いました。また、市関連審議委員会や協議会の委員として参画し、連携することが出来ました。

③関係機関・企業等との連携強化

○学校、地域の団体、ボランティア等との連携のほか、企業の社会貢献活動とのさらなる連携により、地域福祉の推進に取り組みました。

◆フードドライブ事業の実施【善意銀行事業】

基本目標3-2で記載の通り

◆財源検討部会の開催【本部事業】

委員	理事、評議員、監事、地域まちづくり協議会からの推薦者
開催日	案 件
8月4日	・会費、共同募金、善意銀行についての現状報告 ・事前アンケート結果報告 ・「社会福祉協議会の会費額、依頼方法、会費の使途について」 全体で意見交換 会費額変更 一口800円 → 500円 新たな助成金制度の創設「地域つながり活動助成金」

④関係職員の資質の向上

○コミュニティソーシャルワーカーとしての資質の向上のため、積極的な研修の受講を促進します。

◆職員研修および学習会の開催【本部事業】

滋賀県社会福祉協議会研修センターをはじめ市や関係する機関が主催する研修会に職員が参加しました。また、年2回本会主催の役職員研修を実施しました。
(詳細は本部事業報告のとおり)

【組織運営に関する事項】

本部事業

(1) 本部事業

《法人運當事務》

○理事会議の開催

開催日	案 件
6 月 4 日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 決議事項 議案第 1 号 令和 6 年度 事業報告書 ならび会計決算書の承認について 議案第 2 号 令和 7 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の招集 および付議案件について 議案第 3 号 理事・監事候補者（案）の推薦について 議案第 4 号 評議員候補者（案）の推薦について 議案第 5 号 評議員選任・解任委員候補者（案）の推薦について 議案第 6 号 令和 7 年度定時評議員会の招集 および付議案件について
6 月 19 日	報告事項 評議員選任・解任委員会及び評議員の選任について 決議事項 議案第 1 号 理事会招集手続省略に係る同意について 議案第 2 号 会長、副会長及び常務理事の選任について 議案第 3 号 顧問の委嘱について 議案第 4 号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第 5 号 第三者委員の選任について
9 月 8 日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 決議事項 議案第 1 号 令和 7 年度第一次会計補正予算（案）について 協議事項 協議事項 1 令和 8 年度からの社会福祉協議会の会費 および使途について令和 7 年度財源検討部会の報告から

12 月 12 日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 決議事項 議案第 1 号 令和 7 年度第二次会計補正予算（案）について 議案第 2 号 理事・評議員候補者（案）の推薦について 議案第 3 号 第 2 回評議員会の招集（書面決議） および付議案件について 議案第 4 号 第 2 回 評議員選任・解任委員会の招集（書面決議） および付議案件について
3 月 15 日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 決議事項 議案第 1 号 令和 7 年度第三次補正予算（案）の承認について 議案第 2 号 令和 8 年度事業計画 および予算（案）の承認について 議案第 3 号 令和 8 年度基金積立金の積立 および取り崩しについて 議案第 4 号 第 3 回評議員会の招集及び付議案件について

○評議員会の開催

開催日	案 件
6 月 19 日	決議事項 議案第 1 号 令和 6 年度事業報告書 ならび会計決算書の承認について 議案第 2 号 理事及び監事の選任について
12 月 15 日	提案事項 議案第 1 号 理事 1 名の選任について（書面決議）
3 月 23 日	議案第 1 号 令和 7 年度会計補正予算の承認について 議案第 2 号 令和 8 年度 事業計画及び予算（案）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
5 月 28 日	令和 6 年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

開催日	案 件
6 月 16 日	評議員 17 名の選任について（評議員任期満了）
12 月 16 日	評議員 1 名選任について（書面決議）

○役職員研修会

開催日	研 修 内 容
9月18日	研修テーマ「社協をよりよくするために」グループワーク 出席役職員数 27 名
開催日	研 修 内 容
2月4日	「見えないものを見る力」 ～ 寄りそい続ければ見えてくるもの ～ 龍谷大学 講師 金子秀明 さん 【社会福祉法人さわらび福祉会前理事長】 出席役職員数 34 名

人権研修名	市主催「出会い・気づき・発見講座」①②④ 市主催「やさしい日本語講座」③ 市主催「豊かなつながり創造講座」⑤⑥⑦⑧		
開催日 【内 容】	① 7月11日 【子育てのアンラーニング】11名 ② 7月25日 【相手のやる気を引き出す言葉の力】4名 ③ 8月19日 【やさしい日本語をつかう】1名 ④ 8月26日 【インターネットと子どもの人権】3名 ⑤ 12月1日 【男女共同参画とジェンダー平等】8名 ⑥ 12月5日 【多様な性について考える】2名 ⑦ 1月15日 【ひとりぼっちのいないまちづくり】2名 ⑧ 2月6日 【発達障害って、なんだろう】1名		
研修名	交通安全研修会＋ハラスメント研修会「DVD 講座」		
開催日	① 1月30日 午後1時30分～午後2時30分 5名（老福） ② 2月2日 午後1時30分～午後2時30分 4名 ③ 2月2日 午後2時30分～午後3時30分 2名 ④ 2月3日 午後3時30分～午後4時30分 2名 ⑤ 2月4日 午後4時00分～午後5時00分 5名 ⑥ 2月6日 午後1時30分～午後2時30分 4名 ⑦ 2月6日 午後2時30分～午後3時30分 1名 ⑧ 2月6日 午後3時30分～午後4時30分 1名 計24名		

研修名	交通安全研修会「講習会」＋ハラスメント研修会「DVD 講座」 1 月 29 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時 交通安全「生活道路での交通事故を防ぐために」 講師 甲賀警察署員 出席職員 21 名
-----	--

○第三者委員の設置と委員会

委員名	澤九仁男、植村恵子、古岡裕子
開催日	案 件
8 月 20 日	・福祉サービス苦情体制について ・令和 6 年度福祉サービス苦情状況報告

○マスコットキャラクター「ふわわん」の活用

マスコットキャラクター「ふわわん」を活用し、シール、LINE スタンプを作成しました。

○社協会費の納入依頼と徴収

7 月 世帯社協会費依頼と徴収（ 4,800,690 円 ） ※前年 5,146,720 円

8 月 法人・事業所社協会費依頼と徴収（ 140 事業所 758,000 円 ）

※前年 129 事業所 695,000 円

【 計 5,558,690 円 】 【 ※前年計 5,841,720 円 】

・高額社協会費（30,000 円以上）納入事業所の広告を本会広報紙に掲載

対象 9 社 （ ※前年 7 社 ） 掲載 7 社 （ ※前年 6 社 ）

【福祉サービスの提供】

（１）訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

① 介護保険認定者（要介護者）にホームヘルパーを派遣しました。

・サービス計画に基づいて、生活援助・身体介護・通院時乗降時介護サービスを提供しました。

・県登録喀痰吸引等事業者として関係医療機関等の医師、看護師と連携しながら、訪問介護職員によるたん吸引等の介護サービスを提供しました。

② 介護予防・日常生活支援総合事業

ひとり暮らしなどで、日常生活を営むのに支障がある要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に対し、家事の援助を行うホームヘルパーを派遣しました。

・週 1 回、または週 2 回の生活援助に相当するサービスを提供しました。

介護保険事業	介護予防日常生活支援総合事業
利用者 516 名／年 ＜ 昨年 652 名／年 ＞	利用者 126 名／年 ＜ 昨年 144 名／年 ＞
訪問回数 8,666 回 ＜ 昨年 10,374 回／年 ＞	訪問回数 606 回 ＜ 昨年 725 回／年 ＞

③ 介護保険適用外サービスの提供

利用者から要望、承諾があった場合、訪問介護事業等を実施する中で、利用者の生活状況や身体状況から、家事援助や身体介護、通院付添いの介護保険適用外サービスを提供しました。

介護保険外サービス	
利用者 74 名／年	＜ 昨年 101 名／年 ＞
訪問回数 215 回	＜ 昨年 301 回 ＞

8. その他(おもな事務局事務ならびに出席した委員会)

事務局

- ・湖南市民生委員児童委員協議会事務局
- ・滋賀県共同募金会湖南市共同募金委員会事務局
- ・日本赤十字社滋賀県支部湖南市地区事務局
- ・湖南市介護保険事業者協議会事務局
- ・その他福祉団体等の事務補助

市関連

- ・湖南市総合計画策定委員会
- ・湖南市民生委員推薦会
- ・湖南市地域福祉推進協議会（事務局）
- ・第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（事務局）
- ・湖南市子育て支援センター運営委員会
- ・湖南市要保護児童対策地域協議会
- ・湖南市子ども、子育て未来会議
- ・湖南市訪問看護ステーション運営委員会
- ・湖南市地域包括支援センター運営協議会（部会）
- ・湖南市地域支えあい推進会議

- ・ 湖南省介護保険運営協議会
- ・ 湖南省高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会（部会）
- ・ 自立支援型地域ケア会議
- ・ 湖南省高齢者虐待防止対策推進協議会
- ・ 湖南省障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員会
- ・ 湖南省障がい者の人権を守るための連携協議会
- ・ 湖南省障がい者施策推進協議会
- ~~・ 湖南省福祉有償運送運営協議会（昨年開催なし）~~
- ・ 湖南省人権まちづくり会議
- ・ 湖南省防災会議
- ・ 湖南省人権教育研究大会実行委員会
- ・ 湖南省人権擁護審議会
- ・ 湖南省企業・事業所人権啓発推進協議会
- ・ 隣保館支援方策検討会（三雲、夏見、石部）
- ・ 湖南省自殺対策関係機関担当者会議
- ・ 健康づくり湖南推進協議会
- ・ 湖南省就労推進会議
- ・ 湖南省交通安全推進協議会
- ・ 湖南省地域公共交通会議
- ・ 湖南省ひきこもり支援ステーション事業関係機関連携会議
- ・ 湖南省青少年育成市民会議
- ・ 甲賀圏域在宅医療推進協議会
- ・ 甲賀圏域難病対策地域協議会
- ・ 甲賀地域障がい児・者サービス調整会議（全体会議、部会）
- ・ 甲賀地域の障がい福祉を考えるつどい企画会議
- ・ 甲賀圏域権利擁護支援推進会議
- ・ 特定非営利活動法人ぱんじー「甲賀・湖南権利擁護支援センター」（なんでも相談）
- ・ 市内各地域まちづくり協議会（支えあい推進会議、委員会、部会）
- ・ わた SHIGA 国スポ・障スポ湖南省実行委員会
- ・ れがーと運営委員会
- ・ 秋桜舎運営推進会議